

## 路地百選推薦書【No. 247】

推薦者氏名：事務局

推薦する路地（のまち）の名称	東かがわ市引田の路地
所在地	香川県東かがわ引田

### 【推薦する理由（路地のよいところ）】

町の中心を南北に走る本町通り（旧南街道）を中心として、海側に3筋の路地が平行し、これらの通りを、横にさらに狭い路地が編んでいる。

本町通りは幅員4mあるところは少なく、路地と言っても良く、沿道には廃屋やメンテナンスされていない建物も少なくはないが、町屋や近代建築が並び落ち着いた風情を見せている。また、街並みギャラリーとして、住民が通りを歩く人に鉢植えや小物などの展示を行っている。

本町通りが鉤の手になったところには、もと豪商の「讃州井筒屋敷」が保存され、その北側にはベンガラ色に塗られた醤油蔵「かめびし屋」があり、独特の風情を見せている。

本町通りに直行する路地は、ほとんどが幅1間はなく、緩やかにカーブしたり敷地ごとにでこぼこしており、その先へと私たちを引き寄せている。



井筒屋前の浜に向かう路地



本町通り（北側）ベンガラ色に塗られた醤油蔵



本町通り南側この部分は比較的広い  
左が日下家、右は旧郵便局をリノベーションした喫茶店



井筒屋



浜へ向かう路地

路地のまちの概要	面積	約      h a	路地の延長	約      m
	特色等	<p>引田は古くから瀬戸内海の風まち港として、また、南街道（紀伊・淡路・阿波・讃岐・土佐・伊予六カ国の国府を結ぶ古代の官道。）の街道筋として商業が発展し江戸時代から醤油・酒醸造業を営む佐野家（屋号井筒屋）を中心として形成された。</p> <p>引田は漁港と商業地と農業の3つのコミュニティで構成され、路地群はハマ（漁港）に形成されており、海側から大浜通り、中浜通り、岡浜通りと名付けられている。漁港のコミュニティはさらにこれらと交差する幅1間程度の細い路地を境として形成されている。</p>		

※路地のまちの概要は記入できる範囲で結構です。それぞれの枠の大きさは各自で調整願います。